



## Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A

Treasury Department  
Av. Paulista, 1274 – Bela Vista  
São Paulo, SP – 01310-925

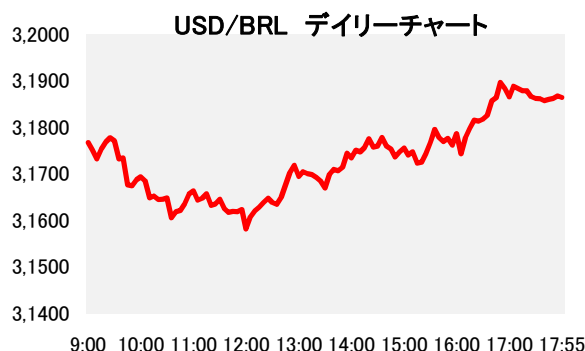
## 1. マーケット・レート

			8月9日	8月10日	8月11日	8月12日	8月15日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	3.1450	3.1270	3.1440	3.1920	3.1860	-0.0060
	BRL/JPY	Spot	32.39	32.34	32.43	31.74	31.78	+0.04
	EUR/USD	Spot	1.1114	1.1182	1.1137	1.1163	1.1183	+0.0020
	USD/JPY	Spot	101.87	101.15	101.97	101.29	101.26	-0.03
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	13.822	13.829	13.839	13.838	13.824	-0.013
	Future	1Year(p.a.)	13.106	13.081	13.118	13.112	13.097	-0.015
	On-shore	6MTH(p.a.)	2.177	2.167	2.111	2.128	2.214	+0.086
	USD	1Year(p.a.)	2.304	2.386	2.337	2.326	2.350	+0.024
株式	Bovespa指数		57689	56920	58300	58298	59146	848
CDS	CDS Brazil 5y		267.60	262.37	258.31	258.22	253.97	-4.25
商品	CRB指数		181.430	179.549	181.990	182.681	185.144	+2.46

\* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊社担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

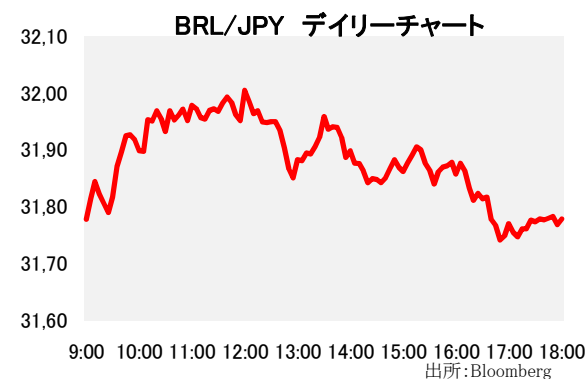
## 2. 主要経済指標

イベント	予想	実績	前回
貿易収支(週次)	--	\$1685m	\$637m
(米)ニューヨーク連銀製造業景気指数	2.00	-4.21	0.55
(米)NAHB住宅市場指数	60	60	59



## 3. 要人コメント

ゴールドファイン 伯中銀総裁	ブラジル経済の低下時期は終わりを迎え、今は安定している。これからは回復が見られると信じている。
-------------------	---



## 4. トピックス

- 本日のレアルは3.1910で寄り付き後、直ぐさま本日の安値となる3.1920を付けたが、原油価格の上昇や大口の資金流入の噂を受けてレアルは買いが優勢となり、正午には本日の高値となる3.1580を付けた。しかしその後からは伯中銀によるドル買い介入の影響を受けて売りに転じ、3.18台半ばまで反落、結局3.1860でクローズした。
- 本日発表されたブラジル中銀によるアナリスト予想集計では、2016年の経済成長率予想が▲3.23%から▲3.20%に上方修正され、2017年予想は+1.10%に据え置かれた。また、2016年のインフレ率予想は7.20%から7.31%に上方修正されたほか、2016年末の予想為替レートは3.30に据え置かれた。
- 産油国が相場安定策を協議するとの観測が再燃し、WTI原油先物は大幅続伸、約4週間振りの高値で引けた。
- 原油価格の上昇を受けてエネルギー銘柄が約3%上昇したほか、素材銘柄が約3.5%上昇したことでボベスパ指数も2014年9月振りの水準まで回復した。

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できるとされる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべて お客様御自身でご判断下さいませう、宜しくお願ひ申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は 著作物であり、著作権法により保護されています。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。